

まちづくりの
基本理念

南向きに生きよう！ 「みんなが主役“市民協働のまちづくり”」

本市は、島原半島の南東部に位置し、年間を通して太陽の光が“^{さんさん}燦々”と輝き、農産物などさまざまな自然の恵みをもたらしてくれるまちです。自然環境は、優しく穏やかに私たちの生活を見守り、ひと時の“^{いや}癒し”を与えてくれます。私たちにとっては、これらが最大の財産であり、大切に守り育てていくことが重要な役目だといえます。

「南向きに生きよう！」、この言葉は、自然環境の大切さや自然とともに生きる本市のまちづくりの基本的な姿勢を表しています。

本市は、少子高齢化問題や財政問題など取り組むべき課題をいくつも抱えていますが、全国に誇る農業や歴史文化資源、また自然環境や地域コミュニティなど、本市の“強み”を“前向き（積極的）”に押し出すことで、必ずや問題は解決できるはずです。「南向きに生きよう！」には、こうした“前向き”“積極的”な意味も込められています。

本市が“南向きに生きる”まちづくりを実現していくために必要なものは、市民一人ひとりの力です。これからは、市民と行政がこれまで以上に手を取り合い、みんなで協働しながら誇れるまちづくりに挑戦していくことが重要です。

「みんなが主役“市民協働のまちづくり”」とは、南島原市のこれからのまちづくりに欠かせない私たちの「理念」を表したものです。



まちづくりの
将来像

太陽の恵みと世界遺産のまち 南島原

本市は、豊かな自然環境を舞台とした太陽の恵みあふれる“食の産地”です。そして、世界遺産暫定一覧表に登載されたキリシタン史跡を持つ、世界に誇れる歴史のまちです。

本市は、「**太陽の恵みと世界遺産のまち**」として、かけがえのない地域資源を大切に守り育てながら、



生活重視の安心・安全のまち

自然・歴史・食の産地を地域ブランドにひときわ輝くまち

ずっと働ける元気な産業のまち

を将来像に、これからのまちづくりを市民協働で進めていきます。



◎まちづくりの将来像

太陽の恵みと世界遺産のまち 南島原

南島原市総合計画基本構想を策定しました

【計画策定の背景と目的】

本市は、肥沃な大地と豊かな自然に恵まれ、全国有数の農産地であるとともに、世界遺産暫定一覧表に登載されたキリシタン資源や伝統的なそうめん産業など、全国に誇る郷土文化を有しています。一方、出生率の低下や若者の流出等による人口減少と少子高齢化が全国平均を上回るスピードで進行しており、社会経済活動に大きな影を落としています。また、福祉問題や雇用問題、交通問題など、本市が取り組むべき課題は山積みであり、限られた財源での効率的な行財政運営が求められています。

「総合計画」は、こうした厳しい状況下において、全ての市民が安心して安全に、そして、誇りと夢を持つて暮らすための総合的なまちづくりの指標として策定する10力年計画です。本市が進める各種の施策や事業等の基本的な計画であり、市民や事業者の皆さんと行政が一緒になってまちづくりを進める「市民協働のまちづくり」の指標とされるものです。

【まちづくりの重点課題】

本市を取り巻く環境が大きく変化するなか、南島原市のまちづくりの方向性を考える上では、社会情勢の変化や市民の意向を的確に把握し、これらに積極的に対応していくことが求められます。まちづくりの重点課題として、8項目が挙げられます。

- ① 自然環境と調和した循環型のまちづくりを進めること
- ② 世界的な歴史遺産をはじめ郷土文化をみんなで守り活かすこと
- ③ 農業をはじめとする地域全体の産業振興を進め、雇用機会を拡大すること
- ④ 地域で支えあう充実した
- ⑤ 子育てから学校教育、生涯学習・スポーツなどが一体となった人づくりのまちをつくること
- ⑥ 尊い生命と貴重な財産を守る防災、防犯、交通安全のまちをつくること
- ⑦ 地域高規格道路をはじめとする交通体系や情報基盤など便利で快適な市民生活を支えるまちの基盤を整備すること
- ⑧ 市民協働を基本に、人権が尊重され男女が平等に暮らせる社会を構築すること

効果的・効率的で持続可能な行財政運営を行うこと